

県トヲ新聞

社長 雑感
**ウクライナ紛争に見る
人間の本质**

ロシアとウクライナの紛争が長引いている。ほんの少し前までは平和であった地域が一瞬のうちには地獄となった。誰が見てもロシアの一方的な侵略だが、ロシア側はその正当性を主張している。自分たちの言う事を聞かなければ力づくで従わせる、というのがロシアの行動だが、これを認めれば世界の秩序が崩壊してしまう。加えて、ロシアとウクライナの紛争の歴史や背景などについても様々な主張や分析が有るので、見ている方はどこに真相を見出しているのか混乱してしまう。所詮戦争というのは、何が有っても勝てばいいので、フェイクニュースによるかく乱も戦術として成立する。過去の戦争をみてもそれは明らかであり、戦争は勝った方が正義になる事が多い。

日本は第二次世界大戦後、平和な時代を過ごしてきた。今年で終戦から七十七年になるうとしている。もうあのような悲惨な戦争は無いと思っていたが、ウクライナを見ればそれもただの願望でしか無い。日本の回りには脅威になりうる国がたくさんある。ロシアのような理屈で喧嘩を売られる事など無いと誰が言えるのか。現実を直視して国を守る有効な対策を進めていかなくてはならない。

ロシアの侵攻はその理由がどこに有るにせよ、なぜこのような理不尽な形になったのだからかと思うと同時に、その一方で相手を口撃して辛い思いをさせたり、有りもしない事をさも本当のように主張して相手を欺くという事は、平和な国の中でも起こっているのではないかと、頑張っている人の足を引っ張る、困っている人がいても見ない見ぬふりをする、こんな事が身近でたくさん無いか？下手をすればその行為で人が命を落とすことも有る。

ニュースを見てロシアを理不尽と思う人が、平和な国で誰かを傷つけている。テレビに映し出される悲惨な戦争を見て、誠実さや人に対する思いやりなど大きな力の前では無力に思えてくるが、平和な考えや行動を少しでも多くの人が持つ事で、世の中は変わっていかないのだとも思う。平和の有難さに感謝すると同時に、平和な心で人々と接して行かなければと思う。

吉澤比佐志

第78号

発行者
富山県トラック協
富山市水橋沖188
TEL 076(479)6311
FAX076(479)6300

今第78号は

川田・野口が
担当しました

次回担当は

笹嶋さん
判さん
よろしく
お願いします

入社式



新社会人

二〇二二年度新卒の新入社員 糟谷明広さんが入社されました。一週間の部門別研修も終わり物流一課に配属となりました。今年度は低温倉庫への改装や自動倉庫も再稼働しており、県トラが更にパワーアップする年になります。これからの新入社員の成長が楽しみです！



二〇二二年度上期キックオフ！

四月一日、二〇二二年度上期キックオフが開催されました。各部署より決意表明が発表され気持ち新たにスタートを切りました。また会社のスローガンは昨年同様「全員経営」と決まりました。今年度は原油価格が高騰し、高速料金も首都圏等で値上げされ、運送業界には多大な影響を及ぼすと思われませんが、社員一丸となって「全員経営」で頑張っていきたいと思えます。



NEW OPEN MAROOT

MAROOT(マルート) オープン！

三月一八日に富山駅南口に新しい商業施設「マルート」が開業しました。七二店舗のお店の内半数が食に関連したシヨップだそう。新鮮な海の幸が味わえるお店もあり、ますます駅前が活気付くと思えますので、これからが楽しみです。(川田)



☆～食べる為に生きている私としては是非行かなくては(笑)～



野 NOGUCHI'S COLUMN 新年度 目標に向かって

気温も温かくなり、桜の花も見られるようになってきましたね。皆様いかがお過ごしでしょうか。運輸部の野口です。昨年もこの時期に担当させていただいていたので、今回もまた担当させていただきますこととなり、時間の流れの早さを感じています。さて、最初に桜の花を話題に出してしまいました。やはり富山県民馴染みの花と言え、春が見ごろの県花・チューリップですね。皆様の中には幼いころ幼稚園や保育園、学校で世話をした経験のある方もいらっしゃるかもしれません。私も幼いころに保育園で世話をしたことがありますが、そこで当時の先生から「チューリップは咲いたら一回お休みするのよ。」と教わって、見ごろを終えたチューリップの球根を土の中から出した事を思い出しました。あの頃は何も思いませんでしたが、ふと気になって調べてみると、先生の言う「お休み」は「休眠期」というものを指していたのだと知りました。一般的に休眠期というのは成長を休止させるもの。だそう。しかしチューリップに関しては、苦手な夏を休眠期として過ごしながら、次の花を咲かせるために球根の中で少しずつ組織を作成しているというのです。そして休眠を冬の寒さにあたることで打ち破り、春には花を咲かせているのだと知りました。小さな球根の中で私たちには見えなくても、休みながら、でも確実に成長しているのです。

しかし、それは私たち人間も同じだと思えます。例えば今、新しい年度に入って、仕事や家庭、健康などへの目標を新たにされた方も多いと思えます。目標に向かって努力を始めても、なかなか結果がみえなければ、もやもやして、自分が成長していない気がして、モチベーションも下がってしまいます。よしね。しかしチューリップが花をつけるために、目には見えない成長をしているように、成果が出なくても、きつと昨日の自分より何かが一歩進んでいるはず。そもそも、目標を立てた時点で、自分を振り返ることが出来ているのだから、何も無駄にならないうえに、思っています。それならば、きつと私たちに必要なのは、たとえ目標から遠い位置にいたとしても、自分が少しずつ成長していると認めることではないでしょうか。そして時には休みながら、焦らず自分らしく過ごすことが大事なのではないでしょうか。人よりも成長が早い植物ですら、一年がかりの花なのです。そう考えるなら、私たち人間はもう少しくらい時間がかかったとしても、かまわないのではないのでしょうか。私も普段焦ってしまいがちですが、チューリップに教えられた気がします。今年もチューリップのように自分の目標達成という花を咲かせるため、自分を認めながら、自分らしく進んでいきたいと思います。(野口)